



新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
 <p>氏名：真杉 園英 住所：高砂市（三木市） 年齢：43歳</p>	<p>農地：19 a（借地19a） 施設：ビニールハウス1200㎡ 経営内容： ・トマト6a ・イチゴ4a 労働力：本人、父 出荷先：スーパーなど</p>  <p>トマトのわき芽とり作業</p>
就農から現在まで	就農で良かった点、苦労した点
<p>2009年 就農に向けた情報収集などを開始 2011年 就農を決意し離職 2011年 農業大学校新規就農実践農場研修を1年間受講 2012年 三木市にて就農</p>	<p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> 販売時にお客様からうれしい言葉を頂ける機会もあること。 自分の考えや行動すべてが生産物の結果となって確認できること。 <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> 非農家出身のため、農地の確保。 居住していない地域での就農は非常に敷居が高い。
農業をめざした動機	後輩へ贈る言葉
<ul style="list-style-type: none"> 家庭菜園をするうちに、野菜等を育てる喜びと将来性を感じ就農しようと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 強い精神力と体力が必要ですが、年齢・性別に関わらず自分の能力を十分に発揮できる職業だと思います。 技術はもちろん法律や経理等の知識も習得しておいたほうが良いと思います。